

平成 27 年度第 1 回青森市健康福祉審議会高齢者福祉専門分科会 会議概要

- 開催日時** 平成 27 年 5 月 14 日（木）14：00～15：30
- 開催場所** 青森市福祉増進センター（しあわせプラザ） 3 階 中会議室
- 出席委員** 村上秀一委員、風晴賢治委員、亀田雅代委員、木村隆次委員、中嶋卓美委員、三浦裕委員、山内了介委員 <計 7 名>
- 事務局** 健康福祉部長 赤垣敏子、健康福祉部次長 木浪龍太、健康福祉部参事高齢者支援課課長事務取扱 浦田浩美、健康福祉部介護保険課長 門間 隆、浪岡事務所健康福祉課長 加福拓志、介護保険課副参事 野登浩一、介護保険課主幹 堤 省一、介護保険課主幹 三ヶ田正治、介護保険課主幹 宮川博之、高齢者支援課主幹 柳谷勝司、高齢者支援課主幹 斉藤麻里、高齢者支援課主査 鹿内千恵子、介護保険課主査 佐藤源志、介護保険課主事 葛西光明 <計 14 名>

- 会議次第**
- 1 開 会
 - 2 健康福祉部長あいさつ
 - 3 審議案件
 - (1) 青森市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
 - 4 報告案件
 - (1) 青森市認知症ケアパスについて
 - (2) 青森市高齢者等 S O S ネットワークについて
 - 5 そ の 他
 - 6 閉 会

審議案件（1）青森市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

事務局から、資料 1 のとおり、青森市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について説明があった。

意見、質疑応答

○委員

介護保険料の公費軽減に係る市の負担はいくら位か。

○事務局

公費軽減に係る一般会計繰出金は約 8 千万円となっており、財源として国が 1/2、県が 1/4 負担となっているため、実質的な市の負担は約 2 千万円となっている。

審議案件（1）について了承

報告案件（1）青森市認知症ケアパスについて

事務局から、資料 2 及び資料 2-①のとおり、青森市認知症ケアパスについて説明があった。

意見、質疑応答

○委員

どこまでが認知症だという明確なものはない。誰でも、少なからず認知症になっている状態にある。

○委員

市のケアパス普及のためのパンフレット配布はとてもいい取り組みだと考えるが、認知症を認めない人をどうするか工夫が必要と感じる。

報告案件（2）青森市高齢者等 SOS ネットワークについて

事務局から、資料 3 のとおり、青森市高齢者等 SOS ネットワークについて説明があった。

意見、質疑応答

○委員

行方不明の高齢者については、一番大きな問題であり、認知症であればご本人も自分の名

前も分からないという状況になる。

○委員

市から配信予定のメールマガジンには行方不明者の写真は掲載されるのか。

○事務局

メールマガジンには、資料に記載の情報発信例のとおりとなっており、写真の掲載は予定していない。

市としては、高齢者等の行方不明等に対して、まずはこの形で SOS ネットワークを実施していきたいと考えている。